

ツインシティ倉見地区 まちづくりニュース

このまちづくりニュースは新幹線新駅の誘致とツインシティのまちづくりの情報をお知らせするものです。

まちづくりのための説明会を開催しました

9月に、面整備検討区域(約63ha)の全地権者の方を対象に、まちづくりへの理解を深めていただくため、「ツインシティ倉見地区まちづくりのための説明会」を開催しました。以下に開催概要を報告します。

開催会場及び日時：

- 9月17日(金) 北部文化福祉会館 18:30 ~ 参加者(17)名
- 9月24日(金) 桜町会館 18:30 ~ 参加者(15)名
- 9月29日(水) 倉見地域集会所 18:30 ~ 参加者(32)名

説明会で配布しました資料につきましては、当ニュース末尾アドレスのホームページに掲載しましたので、ご覧下さい。

説明内容：

当日は、新幹線新駅誘致について、(仮称)ツインシティ橋について、平塚市大神地区の状況について、新駅誘致に向けたまちづくりのスケジュールについて、まちづくり計画を協働で進めることについて、今後の事業の進め方について、～を神奈川県から、～を寒川町から説明させていただきました。

説明会で皆様にお伝えした主な内容：

新幹線新駅誘致の現状について

A：今年5月にJR東海から「リニア中央新幹線が開通後は、東海道新幹線のダイヤ過密度が緩和されるため、現在応えられない請願駅設置要望など新駅設置の余地が高まる」との考えが示されました。これまでの「東海道新幹線のダイヤが稠密なため、新駅設置は現状では極めて困難」という回答と比較すると、新幹線新駅設置の可能性が大きく膨らみ始めた、町や期成同盟会ではとらえています。

来春を目途にまちづくり案を作成することについて

A：今年2月に、国土交通大臣から交通政策審議会に対し、整備計画等についての諮問がされました。これを受けて交通政策審議会鉄道部会に、新たに「中央新幹線小委員会」が設置され、来春を目途に答申が出される予定です。

期成同盟会では、それを機に、新幹線新駅設置に関わる協議を開始したいと考えています。その際、JR東海が新駅設置を決定する条件に、新駅周辺の都市形成や周辺都市からのアクセス性の向上を挙げていることから、新駅設置の可否を判断する時期に遅れることのないよう、まちづくり計画案の策定を、来春を目途に地元地権者を始め町民の皆様との協働により、取り組んでいきたいと考えています。

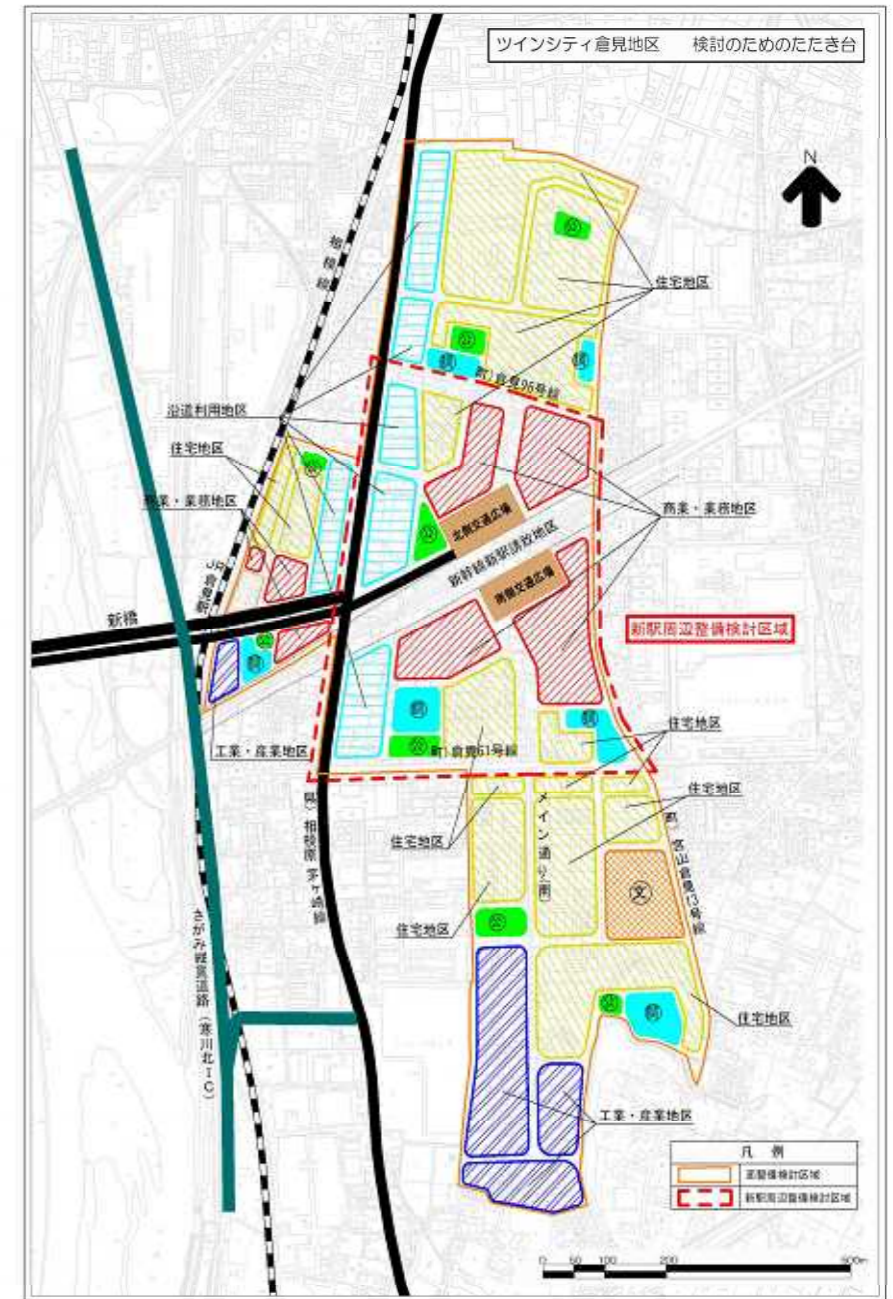
新駅周辺整備検討区域

新駅周辺整備検討区域について

A：従来お示ししている面整備検討区域(約63ha)では事業が長期化することが考えられます。目標とする新駅開業に合わせたまちづくりの範囲として、今回新たに新駅周辺整備検討区域(約24ha)をご提案させていただきました。今後は、当案をたたき台として、まちづくり計画案を、皆様と協働により策定したいと考えています。

皆様のご意見を伺うために、戸別訪問などを行います。

地権者の皆様に、町の考え方をお伝えし、まちづくりへの理解を深めていただくため、また、土地活用のご意向を伺うために行います。ご協力をお願いします。



まちづくりに関する幅広いご意見をお待ちしています！

まちづくりについてのご質問等がございましたら、お気軽に下記までご連絡ください。

〒253-0196 神奈川県高座郡寒川町宮山165番地寒川町都市建設部
新幹線新駅対策課

TEL: 0467(74)1111 (内線321~322)

FAX: 0467(75)9906

メールアドレス shinkansen@town.samukawa.kanagawa.jp
ホームページ http://www.town.samukawa.kanagawa.jp

【ツインシティのまちづくり相談コーナーを設けました。】

日時：毎月第3木曜日・午後1時30分～午後4時 場所：北部文化福祉会館

